講義名称	生活とこころとからだ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	1年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14204351

担当教員

氏名	所属
◎ 三輪　早苗	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	生理学と心理学Ⅰを踏まえ、介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心理、人体の構造と機能について学修した後、日常生活の場面に応じたこころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について学修します。
到達目標	1. 人間の心理及び人体の構造と機能に関する基礎的な知識を習得する。 2. 日常生活の場面（身じたく、移動、休息・睡眠）に関連したこころとからだのしくみを理解する。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 こころのしくみ①　人間の欲求、自己概念、自己実現	
	【事前事後学修の内容】 「心理学」の学習内容を復習する。人間の欲求や自己概念についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 60
第2回	【授業計画】 こころのしくみ②　脳のしくみ、学習・記憶・思考・感情・認知のしくみ	
	【事前事後学修の内容】 「脳しくみについて学習してくる。学習、記憶、感情、認知のしくみについてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第3回	【授業計画】 こころのしくみ③ 意欲・動機づけのしくみ、適応のしくみ	
	【事前事後学修の内容】 意欲や学習の動機つけについてネットで調べてくる。動機づけや適応のしくみをまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 60
第4回	【授業計画】 からだのしくみ①　心身の調和、身体の部位の役割	
	【事前事後学修の内容】 「生理学」の学習内容を復習する。日常生活から心身の調和について体験からまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第5回	【授業計画】 からだのしくみ②　恒常性	
	【事前事後学修の内容】 恒常性について調べてくる。例を示しながら恒常性をまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 60

第6回	【授業計画】 からだのしくみ③　生体防御のしくみ	
	【事前事後学修の内容】 生体防御を調べてくること。例を示しながら生体防御についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 60
第7回	【授業計画】 からだのしくみ④　バイタルサイン	
	【事前事後学修の内容】 バイタイルさサインについて調べてくる。安静時の家族のバイタルサインを測定しまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第8回	【授業計画】 移動に関連したこころとからだのしくみ①　移動行為の意義、活動意欲、 骨格・筋・関節・神経の構造と機能	
	【事前事後学修の内容】 事前に起床時の心身の変化を観察し、レポートを作成すること。買い物と移動の例からこころとからだのしくみをまとめる	【事前事後学修時間（分）】 120
第9回	【授業計画】 移動に関連したこころとからだのしくみ②　重心移動とバランス、姿勢・体位保持・歩行のしくみ	
	【事前事後学修の内容】 事前に立ち上がり・歩行する時の身体の動きを観察し、レポートを作成する。重心移動が必要な姿勢、体位をまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第10回	【授業計画】 移動に関連したこころとからだのしくみ③　機能低下や障害が移動に及ぼす影響と変化の気づき	
	【事前事後学修の内容】 移動に関連する心身機能の低下を調べてくる。機能低下と移動への影響をまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 60
第11回	【授業計画】 移動に関連したこころとからだのしくみ④　関連する障害・疾病（骨折、廃用症候群、褥瘡、麻痺等）	
	【事前事後学修の内容】 関連する障害・疾病（骨折、廃用症候群、褥瘡、麻痺等） テキストを予習する。高齢者に多い骨折や廃用症候群をまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第12回	【授業計画】 身じたくに関連したこころとからだのしくみ①　身じたくの意義、感覚器・口腔・爪の構造と機能　口腔清潔の意義と口臭のしくみ	
	【事前事後学修の内容】 事前に自分が行っている身じたくの行為及び使った身体の部位・臓器を調べる。身じたくの必要性と意義についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第13回	【授業計画】 身じたくに関連したこころとからだのしくみ②　機能低下や障害が身じたくに及ぼす影響と変化の気づき 関連する障害・疾病（歯周病、視覚障害、関節拘縮など）	
	【事前事後学修の内容】 機能低下が身じたくに影響する理由を調べてくる。事例を通して機能低下と身じたくの関連をまとめる	【事前事後学修時間（分）】 60
第14回	【授業計画】 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ①　休息・睡眠の意義、睡眠時間・リズム、睡眠のしくみ	
	【事前事後学修の内容】 事前に入眠前・起床時の自分の心身の状態を観察し、レポートを作成する。睡眠時間と睡眠リズムをまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90

第15回	【授業計画】 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ②　機能低下や障害が休息・睡眠に及ぼす影響と変化の気づき　関連する障害・疾病　　【三輪】	
	【事前事後学修の内容】 機能低下と睡眠の関連について調べてくる。機能低下が急速・睡眠に影響する内容をまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 60

履修に必要な予備知識や技能	履修に必要な予備知識や技能：「生理学」「心理学Ⅰ」の科目を履修し、授業に臨んでください。また、本科目と同時に「こころとからだのしくみ」を履修してください。
課題に対してのフィードバック	準備学習として取り組んだレポートの内容を踏まえて授業を展開します。提出された課題やワークシートは、次回以降の授業で返却します。
評価方法・基準	定期試験70%、課題20%、受講態度（授業への参加度）10%
教科書	最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版　中央法規出版 （科目「こころとからだのしくみ」と同じ教科書）。
備考	介護福祉士養成における必須科目です。介護福祉士資格取得を目指す人は必ず受講してください。
実務経験の内容・期間	看護師（8年）